

環境経営レポート

2023 年度版

(活動期間 2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)

発行 2024 年 12 月 4 日

マーケティングサプライ事業から
環境事業へ
そして未開の領域へ

ビジネスフィールドを
大きく広げています



ハイブリッド・サービス株式会社

目 次

1. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
2. 事業所（組織）の概要・・・・・・・・・・・・・・・・P3～4
3. 対象範囲（認証・登録）・・・・・・・・・・・・・・P5
4. 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
5. 環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
6. 環境経営目標実績と評価・・・・・・・・・・・・・・P8
7. 環境経営計画の次年度の取組内容・・・・・・・・P9
8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認・・・・・・・・P9
9. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・P9～10

ハイブリッド・サービス株式会社 環境経営方針

当社は、エコアクション 21 を積極的に参加し、深刻な問題となっている地球環境を十分に配慮し、環境に関する法令等を遵守しながら、日常全ての事業活動において、従業員一人ひとりが会社を取り巻く状況を常に把握し、会社の問題点及び今後の進むべき方向性を認識した上で、環境を常に意識し、自主的・積極的に環境への取り組みと継続的な環境負荷を出来る限り軽減すべく、以下の方針に取り組み、同プログラムを運用・維持することを基本方針とする。

1. 環境経営目標及び環境経営計画を定め、定期的に見直し、継続的改善に取り組みます。
2. 環境影響、環境負荷を軽減するために、次の活動を推進します。
 - (1) エネルギー（電力消費等）の削減を通して、二酸化炭素を減らします。
 - (2) 一般廃棄物の削減及びリサイクルの促進に取り組みます。
 - (3) 節水に取り組みます。
 - (4) エコ商品（環境関連商品）の普及拡大に取り組みます。
 - (5) 社会的貢献に取り組みます。
 - (6) グリーン購入法対象商品の取り扱いを推進します。
 - (7) 全従業員の業務の効率化を図り、クラウド化とテレワーク化を推進します。
3. 環境関連法規、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. この環境経営方針は教育や提案活動を通して全従業員に周知し、環境保全活動は全員参加により実行します。
5. 環境経営方針、環境活動を環境活動レポートにまとめ、地域や利害関係者からの求めに応じて、配布、公表し、社内外への情報提供を行います。これに伴い積極的な環境コミュニケーションに取り組みます。

2024年4月1日 制定

ハイブリッド・サービス株式会社
代表取締役社長 高橋 信弘

2. 事業所（組織）の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

ハイブリッド・サービス株式会社
代表取締役社長 高橋 信弘

(2) 本社所在地

〒101-0031

東京都千代田区東神田二丁目1番11号 第一坂本ビル3階

URL：<http://www.hbd.co.jp/>

(3) 対象事業所

《本社》

〒101-0031

東京都千代田区東神田二丁目1番11号 第一坂本ビル3階

《草加物流センター》

〒340-0003

埼玉県草加市稲荷五丁目29番1号

(認証登録時期：2021年12月)

(4) 事業活動

OA機器消耗品の卸売

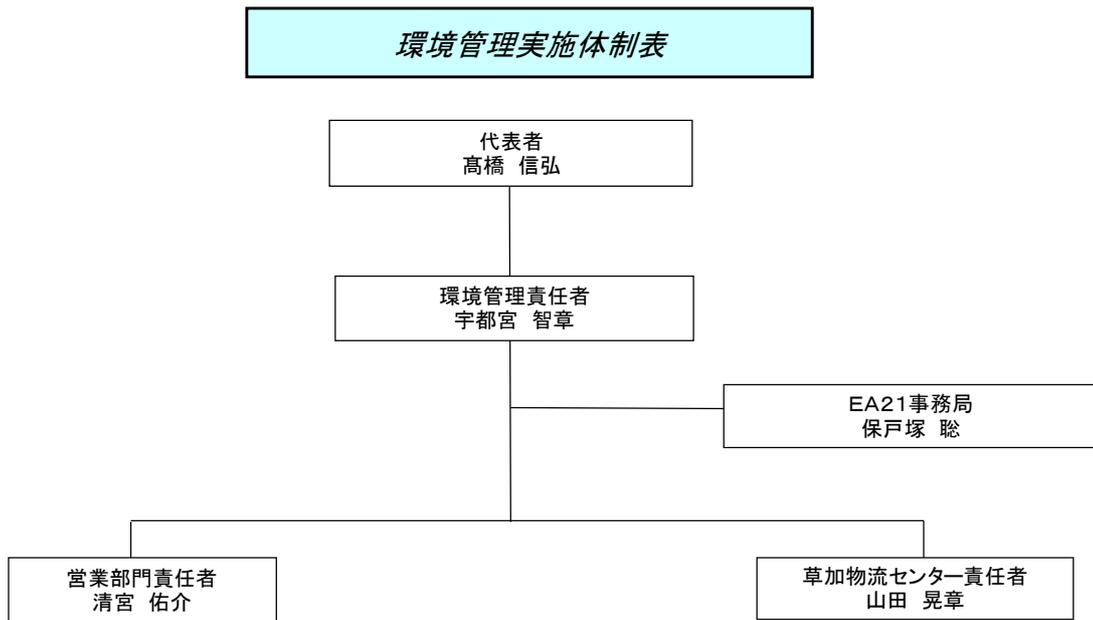
(5) 事業規模

項目	2021年	2022年	2023年
売上高（百万円）	5,200	5,981	6,145
従業員数（人）	35	35	32
事業所の延べ床面積（㎡）	6,175	6,175	6,175

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・環境管理者氏名 取締役管理部長 宇都宮 智章
- ・担当者氏名 管理部マネージャー 保戸塚 聡
- ・連絡先 電話 03-6811-0818 / FAX 03-6811-0819

(7) 環境管理体制図



役職	責任および権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ●環境経営方針を定める ●環境管理責任者を任命 ●資源の用意 ●全体の評価の見直し、指示をする ●経営上の課題とチャンスの明確化 ●環境経営目標、環境経営計画の策定をする ●実施体制の構築、周知
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ●システムの総責任者として実務上の役割、権限を有する ●システムの実績を代表者に報告
事務局	●システム運用上の事務管理
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ●環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 ●環境上の緊急事態への準備及び対応
従業員	●環境経営方針を理解し、積極的に活動に取り組む

3. 対象範囲（認証・登録）

(1) 認証・登録の範囲

OA 機器消耗品の卸売

(2) 対象事業所

本社、草加物流センター

4. 環境経営目標一覧表

環境項目	基準年度 2019年	2022年目標 2022/10～ 2023/09	2023年目標 2023/10～ 2024/09	2024年目標 2024/10～ 2025/09	2025年目標 2025/10～ 2026/09
二酸化炭素排出量 (電力消費等) を削減する。	<<電力>> 基準年度 2019年 本社 38,000 (kWh) 17,290Kg-CO2 ※草加物流センター 95,337 (kWh)	2021年度対比 1%削減 本社 37,080 (kWh) 草加物流センター 92,505 (kWh)	2022年度対比 1%削減 本社 36,709 (kWh) 草加物流センター 91,580 (kWh)	2023年度対比 1%削減 本社 36,342 (kWh) 草加物流センター 90,664 (kWh)	2024年度対比 1%削減 本社 35,979 (kWh) 草加物流センター 89,757 (kWh)
	<<ガソリン>> 基準年度 2018年 本社 1,397 (ℓ) 3,241Kg-CO2 ※草加物流センター 7,700 (ℓ)	2021年度対比 1%削減 本社 1,341 (ℓ) 草加物流センター 7,396 (ℓ)	2022年度対比 1%削減 本社 1,328 (ℓ) 草加物流センター 7,322 (ℓ)	2023年度対比 1%削減 本社 1,315 (ℓ) 草加物流センター 7,248 (ℓ)	2024年度対比 1%削減 本社 8,478 (ℓ)
水道使用量を削減する。	<<水道使用量>> ※草加物流センター 198 m ³	2021年度対比 1%削減 190 m ³	2022年度対比 1%削減 188 m ³	2023年度対比 1%削減 186 m ³	2024年度対比 1%削減 184 m ³
一般廃棄物 (コピー用紙他) 削減及びリサイクル促進 に取り組む。	一般廃棄物 基準年度 2018年 本社 265 kg ※草加物流センター 28,800 kg	2021年度対比 5%削減 本社 224 kg 草加物流センター 24,445 kg	2022年度対比 5%削減 本社 213 kg 草加物流センター 23,223 kg	2023年度対比 5%削減 本社 202 kg 草加物流センター 22,061 kg	2024年度対比 1%削減 本社 200 kg 草加物流センター 21,840 kg
エコ商品 (環境関連商品)の普及拡 大に取り組む。 社会的貢献に取り組む。	普及拡販を推進する。	リサイクルトナーの 普及拡販を前年度比 で3%以上推進する	リサイクルトナーの 普及拡販を前年度比 で3%以上推進する	リサイクルトナーの 普及拡販を前年度比 で3%以上推進する	リサイクルトナーの 普及拡販を前年度比 で3%以上推進する
	エコキャップ運動 基準年度 2018年 4,629個回収	エコキャップ運動 2021年度 以上	エコキャップ運動 2022年度 以上	エコキャップ運動 2023年度 以上	エコキャップ運動 2024年度 以上
業務の効率化に取り組む。	クラウド化とテレワ ーク化を推進する。	従業員一人あたり平 均で、1.5日/週のテ レワーク化	従業員一人あたり平 均で、1.5日/週のテ レワーク化	従業員一人あたり平 均で、1.5日/週のテ レワーク化	2024年度中に決定す る目標の実施

※電力・ガソリン・水道使用量・廃棄物は草加物流センターの数値を別途追加致しました。

※水道使用量(本社)についてはテナントで共通利用の為わかりかねます。

※化学物質についての使用はございません。

5. 環境経営計画

環境項目	具体的方策
<p>二酸化炭素排出量（電力消費等）を削減する。</p> <p>【実施責任者】 清宮 佑介</p> <p>【日程】 通期</p>	<p>【電 気】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電運動の展開 ・ 不要蛍光灯の消灯（会議室、トイレ等） ・ 空調設定温度の徹底（夏場 28℃・冬場 20℃） ・ 省エネ型蛍光灯への切り替え推進（LED 蛍光灯） ・ ブラインド等で日射を遮断（夏季期間） ・ 長時間離席時は、PC 電源を切るかスタンバイモードにする ・ 終業時は PC 電源・OA 機器・プリンター等の電源を切る <p>【ガソリン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主点検・整備の徹底 ・ アイドリングストップ ・ エコドライブ（急加速・急停止等の防止） ・ 安全運転、運行管理の徹底
<p>一般廃棄物（コピー用紙他）削減及びリサイクル促進に取り組む。</p> <p>【実施責任者】 宇都宮 智章</p> <p>【日程】 通期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般廃棄物分別の徹底 ・ ペーパーレス化の推進 ・ 裏紙活用等による、紙消費量の削減 ・ コピー機利用方法の効率化を徹底（両面コピー等） ・ プリントアウトの抑制 ・ リサイクル品の分別に取り組む
<p>節水に取り組む。</p> <p>【実施責任者】 宇都宮 智章</p> <p>【日程】 通期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節水の啓蒙活動を促す
<p>エコ関連商品の普及拡大に取り組む。</p> <p>【実施責任者】 宇都宮 智章</p> <p>【日程】 通期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコ関連商品（リサイクル商品）の販売により環境に貢献
<p>社会的貢献に取り組む。</p> <p>【実施責任者】 宇都宮 智章</p> <p>【日程】 通期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコキャップ等の回収による社会的貢献に取り組む
<p>全従業員の業務の効率化に取り組む。</p> <p>【実施責任者】 宇都宮 智章</p> <p>【日程】 通期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド化のためのシステム環境の構築 ・ 従業員のテレワーク環境の整備

6. 環境経営目標実績と評価

環境項目	2023年目標 (2022/10～2023/9)	2023年実績数値等 (2023/10～2024/9)	達成	評価
二酸化炭素排出量 (電力使用量・ガソリン)を削減する	2022年度比1%削減 本社 36,709 (kWh) 16,703 (Kg-CO2) 草加センター1%削減 91,580 (kWh) 41,669 (Kg-CO2)	2023年度実績 本社 29,506 (kWh) 11,094 (Kg-CO2) 草加センター 90,991 (kWh) 34,213 (Kg-CO2)	○	こまめに電気を消すように社内で徹底したため、節電への従業員の意識の向上が見られた。
	2022年度比1%削減 本社 1,328 (ℓ) 3,081 (Kg-CO2) 草加センター7,322 (ℓ) 16,987 (Kg-CO2)	2023年度実績 本社 8,686 (ℓ) 20,152 (Kg-CO2)	△	社用車を本社管理にした。 アイドリングストップやエコドライブの意識の徹底を推進した。
	合計 78,440 (Kg-CO2)	合計 65,471 (Kg-CO2)	○	
水道使用量を削減する	2022年度比1%削減 草加センター188 m ³	2023年度実績 草加センター194 m ³	△	節水の意識向上に取り組んだが、猛暑日増加の影響もあり、昨年より削減には至らなかった。
一般廃棄物(コピー用紙他)及びリサイクル促進に取り組む	2022年度比5%削減 本社 213 kg 草加センター23,223 kg	2023年度実績 本社 211kg 草加センター30,982kg	×	テレワークの推進とペーパーレス化に取り組み、昨年より削減したが、取扱荷物数量増加等の影響で目標に未達だった。
エコ商品(環境関連商品)の普及拡大に取り組む	リサイクルトナーの普及 拡販を前年度比で3%以上推進する。(7,318個)	2023年度実績 年間 9,971 個販売	○	販売普及に取り組んだ結果、目標達成。
社会的貢献に取り組む	エコキャップ運動 2022年度: 986 個 NPO法人へ寄付。	2023年度実績 832 個回収 NPO法人へ寄付。	△	マイボトル持参増加等により、ペットボトルの使用が減り、回収が減少。引き続き回収を行う。
業務の効率化に取り組む	従業員一人あたり平均で、1.5日/週のテレワーク化	テレワークのニーズの再確認、目標策定	×	数回の実施に留まっているため、ニーズの確認と目標の策定を行います。

※凡例：○…達成率 100%以上／△…達成率 100%以下～80%以上／×…達成率 80%以下

※水道使用量(本社)についてはテナントで共通利用の為わかりかねます。

※化学物質についての使用はございません。

電力 : 0.376kg - CO2/kWh (2022年東京電力)

自動車燃料 : 2.32kg - CO2/ℓ(環境省地球環境局 2007年「温室効果ガス総排出量計算方法ガイドライン」より)

7. 環境経営計画の次年度の取組内容

前年度に引き続き、CO2排出量の削減に向けて環境活動を継続すると共に、節水や廃棄物の削減に対する意識の向上、環境関連商品の普及拡大に取り組みます。

8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認

環境関連法規（廃棄物処理法・家電リサイクル法・グリーン購入法・東京都環境確保条例）の遵守状況確認を環境管理責任者が実施し違反はございません。

また、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟も過去5年間ございません。さらに、活動期間中に近隣など外部からの苦情もございません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

① 環境経営目標の達成状況	<p>電力は節電意識の高まりにより、昨年より使用量を削減いたしました。</p> <p>ガソリンはアフターコロナの中で訪問営業が増加した為、昨年より使用量が増加しましたが、ほぼ目標通りとなりました。引き続き節電・省エネに努めます。</p> <p>また、猛暑が続いた影響も有り、水道使用量削減は目標未達となりましたが、エコ商品に関しては、販売店・ユーザー様の意識向上により目標を達成いたしました。</p> <p>一般廃棄物は昨年より削減したものの目標未達でしたので、引き続きペーパーレス化を推進して参ります。</p> <p>テレワークにつきましては、環境は整備されているものの数回の実施に留まっているため、ニーズの確認と目標の設定を行います。</p>
② 環境経営計画の実施及び運用結果	特にありません。
③ 環境関連法規制等の遵守状況	特にありません。
④ 外部からの環境に関する苦情や要望等、有無	特にありません。
⑤ 前回審査の内容と対処結果	環境活動計画書及び実績評価表の達成状況／是正策は定期的に確認・評価結果を記録いたしました。
⑥ 問題点の是正・予防処置の状況	特にありません。
⑦ 緊急事態の訓練結果	特にありません。

⑧ 経営状況の変更		特にありません。
⑨ その他		特にありません。
代表者評価 および指示	① 環境経営方針	引き続き継続いたします。
	② 環境経営目標	より省エネ意識を徹底し、CO2削減を推進いたします。
	③ 環境経営計画	草加物流センターを含めた全社員への意識徹底に努めます。
	④ 実施体制	業務の効率化を図り、勤務時間と残業時間を削減いたします。

以上